

第 12 弾被災地派遣ボランティア活動報告

スミス・ミッションセンター 北星ネット

〈概要〉

派遣先: 日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」

活動期間: 2016年2月2日から3月27日 第1期: 2月2日～2月7日

第2期: 2月23日～2月28日

第3期: 3月15日～3月20日

第4期: 3月21日～3月27日

第1～3期は6日間（活動日4日、移動日2日）

第4期は7日間（活動日4日、移動日3日）で実施

活動地: 宮城県仙台市若林区及び石巻市沿岸部

活動内容: 仙台フィールドワーク 被災者宅での農作業支援や生活支援など

〈1日目〉

活動初日は仙台フィールドワークに行きました。震災や津波の被害にあった地域や今もある仮設住宅を訪れるというもので、このワークに参加した方々のために最初に実施されています。これは東日本大震災が発生後の震災による影響・現状を知ってもらうために行われています。今回は自転車チーム2つに分かれて移動し、七郷中央公園仮設住宅に立ち寄ってラジオ体操をとお茶っこ（仮設でのラジオ体操に参加してくれた方々とお茶会）を訪れた後に笹屋敷公会堂で佐藤真史による荒浜地区の津波の被害があった後とその前の様子の比較動画の視聴などのオリエンテーション、七郷中央公園仮設住宅の会長をしている荒浜地区出身の佐藤さんのお話と質疑応答の時間がありました。その後は荒浜地区の慰霊碑や住民の避難先になっていた七郷小学校や実際に津波がやってきた海岸の様子を見に行きました。エマオに自転車で帰る途中に地下鉄東西線新井駅舎内にあるせんだい3.11メモリアル交流館を訪れ、ここでは実際に震災にあったときの様子、震災に対する感情を吐き出したものや亡くなった人、未だ見つかっていない大切な人への思いなどを描いたメッセージが掲示されているブースや震災が起こる前の地域の様子から現在まで復興されていく様子や起きた出来事がまとめられた展示物、津波によってへし折られボロボロの状態になった道路標識を見ることができた。

〈2日目〉

今日は仙台市で仮設住宅・笹屋敷に残ってフィールドワークをするグループと石巻のフィールドワークに向かう2つのグループに分かれました。私石巻の方に参加してまず初めに復興まちづくり情報交流館「中央館」や津波警報が出た時に沿岸部に住む住民の方々や工

場で働く従業員など多くの人たちが避難し、津波によって町が飲み込まれる様子を見届けられる場所になった日和山公園の高台、今もなお工事が続いている復興公営住宅の建設の様子や津波によって跡形もなくなってしまった病院、取り壊すかそのままの状態に残すか議論が行われている大川小学校、「がんばろう！石巻」のモニュメントがあり今後国や地域が協力して公園になる予定地を見学しました。お昼を地元の食堂でとった後の午後からは津波の被害にあった阿部さんにお話を伺うことができたり、津波によって印刷機の故障した状況で手書きの壁新聞を発行していた石巻日日新聞社の編集長の方に当時の様子を聞いたりするだけではなく実際の手書きの壁新聞を見ることができました。

〈3日目〉

今日から本格的にワークに入りました。荒川地区にお住まいの方のお宅におじゃまして、自動車のタイヤ交換や畑を耕す、プランターの種まきや水やりなどの活動を行いました。少しだけ震災発生後の津波から避難する時のお話を伺うことができ、訪ねたお宅の奥さんは家が隣の方と非難したことによって助かったということで非常事態が起きた時こそ周りの人たちの助け合いが大事であること、地域でのコミュニティ・付き合いの重要だとおっしゃっていました。昼ごはんには庭の畑で収穫したほうれん草をいただきました。

〈4日目〉

ワーク2日目は五穀組合でビニールハウス内の片付け・雑草抜きやネギの苗の植え替え作業といった内容でした。ここではワーク先の方とお話する機会があまりなかった分一緒にこのワークに参加した他大学のワーカーの方と話す機会が多くあって作業中や休憩時間とたくさんお話することができました。地元や出身の都道府県の話で盛り上がり他には大学の友達とするような何気ないことを話して非常に楽しかったです。組合の方々も元気そうな様子でした。

〈全体を通しての感想〉

今回の派遣に行く前に私たちはここで得た経験や聞いた貴重な話をどのように「伝える」のかということを中心に話し合い、考えた上で派遣に臨みました。「伝える」にはどうしたらいいか・誰にどのように伝えればいいのかを各期で考えて、派遣終了後に他の期ではどのようなことがあったのかどんなお話を聞くことができたのかを事後研修会で共有して私なりに考えてみました。私は「伝える」ためにはやはり話をするだけでは伝わりきらないことがいっぱいあると思い、やはり現地の様子を生で見ってもらうことが1番なのかな思いました。ここでしか得られない経験や出会い、聞くことができない話によって生まれる思いや考えなど多くのものをもっとたくさんの人たちに味わってほしいです。そのために今後は私が北星ネットという立場からここでの体験を被災地派遣に少しでも興味を持ってくれた方々に伝え、派遣に送り出してあげられたらいいなと思います。